

JSMO2022 第 19 回学術集会 会員・キャリアエンパワーメント委員会 合同企画

「キャリア相談に関するニーズについてディスカッションする！」

事前調査集計結果

この度は本調査へのご回答およびご協力誠にありがとうございました。

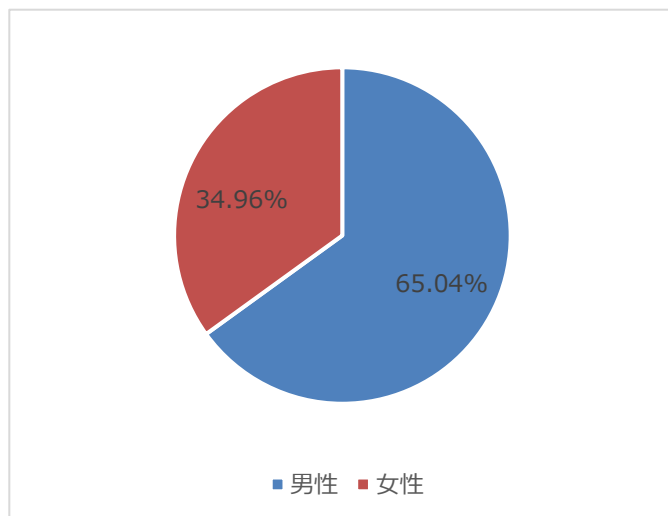
キャリアエンパワーメント委員会では、会員の皆様のキャリアに関する疑問や悩みに寄り添いながら、少しでもエンパワーメントができるよう、教育を受けた会員メンターが個別相談もしくはピアサポートの場を設けることを計画しています。本調査結果を基に、JSMO2022(第 19 回学術集会) キャリアエンパワーメント・会員委員会合同企画(2022 年 2 月 18 日(金) 8:20~9:50)において、セッションを行います。是非ご参加くださいませ。

1.実施概要

- 実施期間：2021 年 11 月 28 日~2021 年 12 月 28 日
- 実施対象：日本臨床腫瘍学会員（2021 年 11 月 28 日時点の全会員）
- 実施方法：インターネットアンケート提供サービス(survey monkey)を利用，URL を email にて配信
設問数全 14 問，所要時間 3 分程度，無記名形式

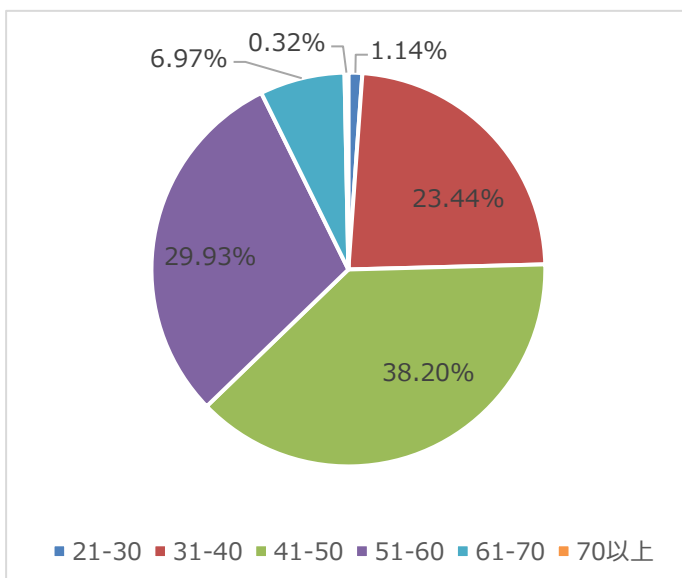
Q1. 参加性別

性別	%	n
男性	65.04%	802
女性	34.96%	431
計		1233



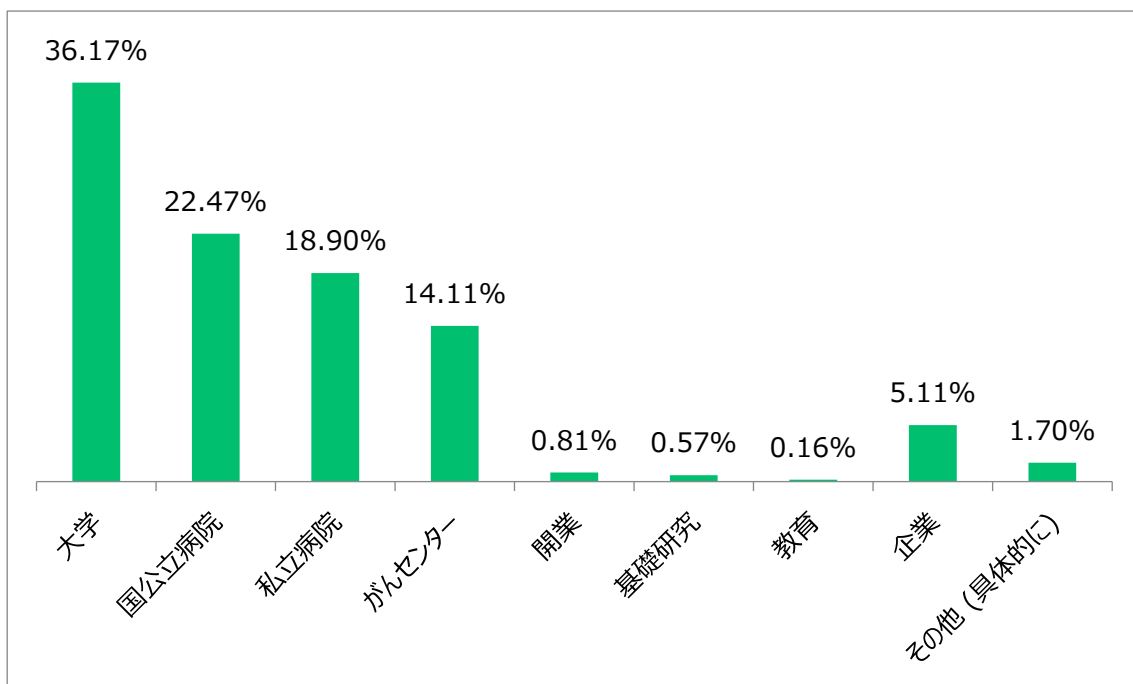
Q2. 年齢

年齢	%	n
21-30	1.14%	14
31-40	23.44%	289
41-50	38.20%	471
51-60	29.93%	369
61-70	6.97%	86
70 以上	0.32%	4
計		1233



Q3. 所属先

所属先	%	n
大学	36.17%	446
国公立病院	22.47%	277
私立病院	18.90%	233
がんセンター	14.11%	174
開業	0.81%	10
基礎研究	0.57%	7
教育	0.16%	2
企業	5.11%	63
その他 (具体的に)	1.70%	21
計		1233



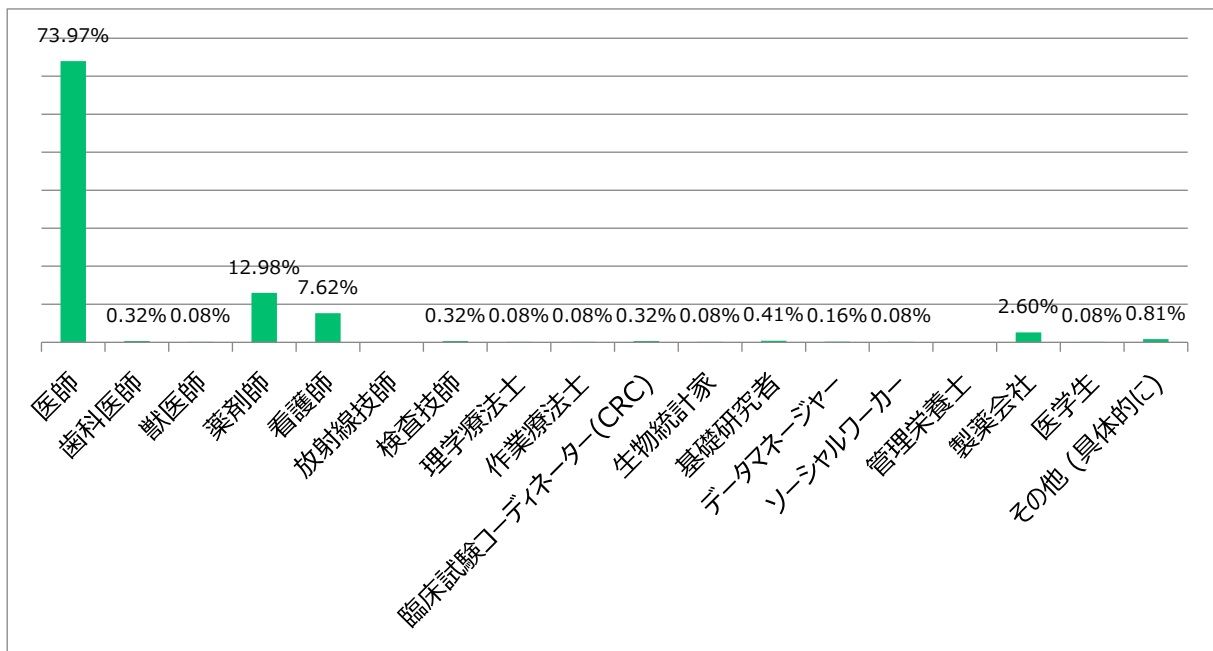
その他

休職中
訪問看護
官庁
団体職員
私立大学病院
行政
行政

日本赤十字社
訪問看護ステーション
訪問看護ステーション
県立病院
無職。留学中の夫に帯同し海外在住
公的医療機関
保険薬局
海外大学病院
血液センター
無職
在宅療養支援診療所、公立病院非常勤
血液センター
一般病院
非常勤医師

Q4. 職種

職種	%	n
医師	73.97%	912
歯科医師	0.32%	4
獣医師	0.08%	1
薬剤師	12.98%	160
看護師	7.62%	94
放射線技師	0.00%	0
検査技師	0.32%	4
理学療法士	0.08%	1
作業療法士	0.08%	1
臨床試験コーディネーター(CRC)	0.32%	4
生物統計家	0.08%	1
基礎研究者	0.41%	5
データマネージャー	0.16%	2
ソーシャルワーカー	0.08%	1
管理栄養士	0.00%	0
製薬会社	2.60%	32
医学生	0.08%	1
その他 (具体的に)	0.81%	10
計		1233



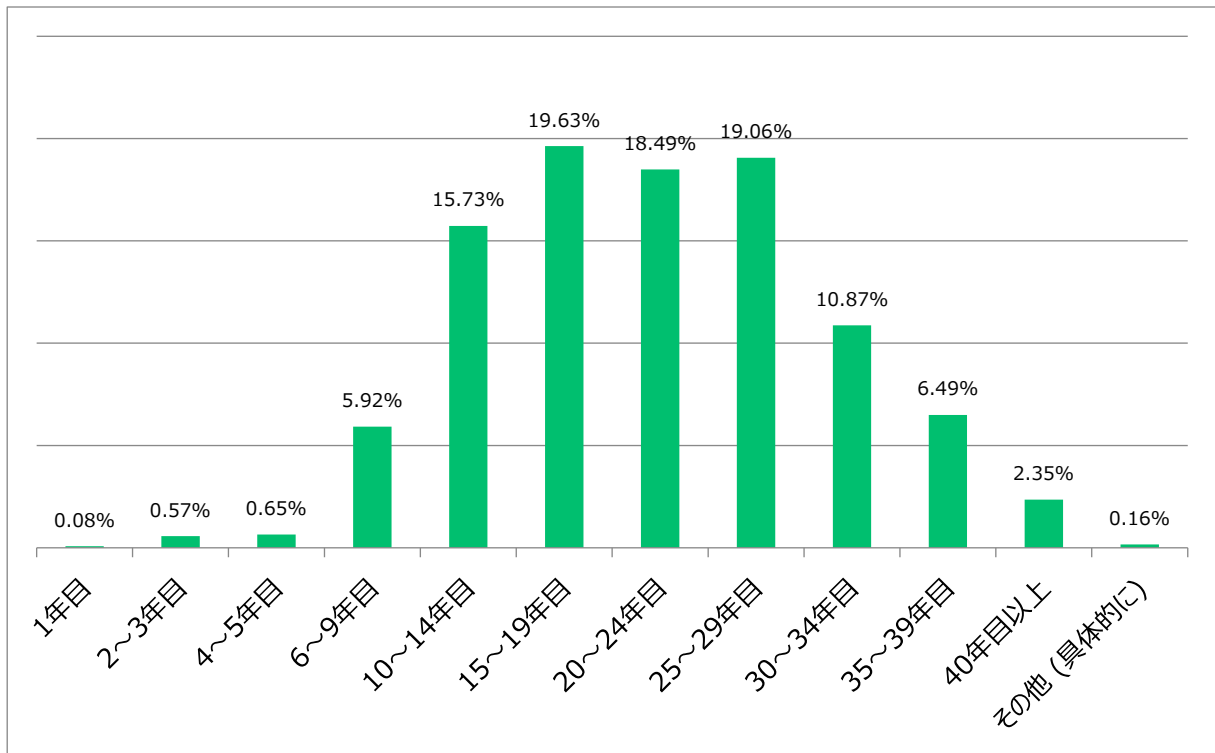
その他

栄養士
ビジネスコンサルタント、薬剤師
教員
公認心理師
医薬品卸
エージェンシー
研究支援
認定遺伝カウンセラー
臨床試験監査

Q5. キャリア年数

キャリア年数	%	n
1年目	0.08%	1
2~3年目	0.57%	7
4~5年目	0.65%	8
6~9年目	5.92%	73
10~14年目	15.73%	194
15~19年目	19.63%	242
20~24年目	18.49%	228
25~29年目	19.06%	235
30~34年目	10.87%	134
35~39年目	6.49%	80

40年目以上	2.35%	29
その他（具体的に）	0.16%	2
計		1233

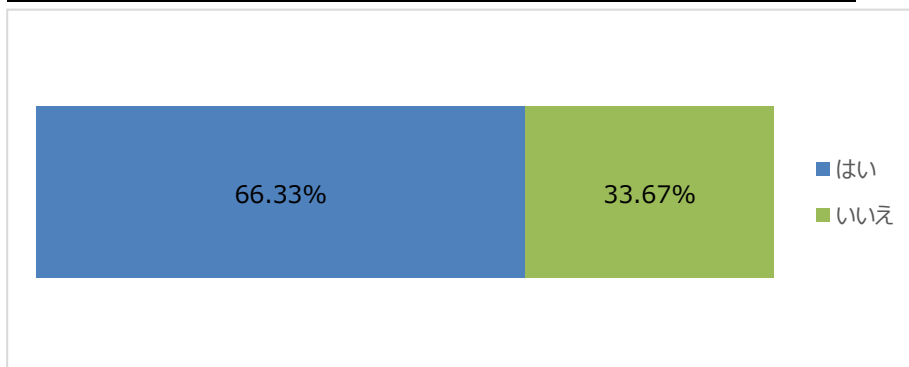


その他

学生

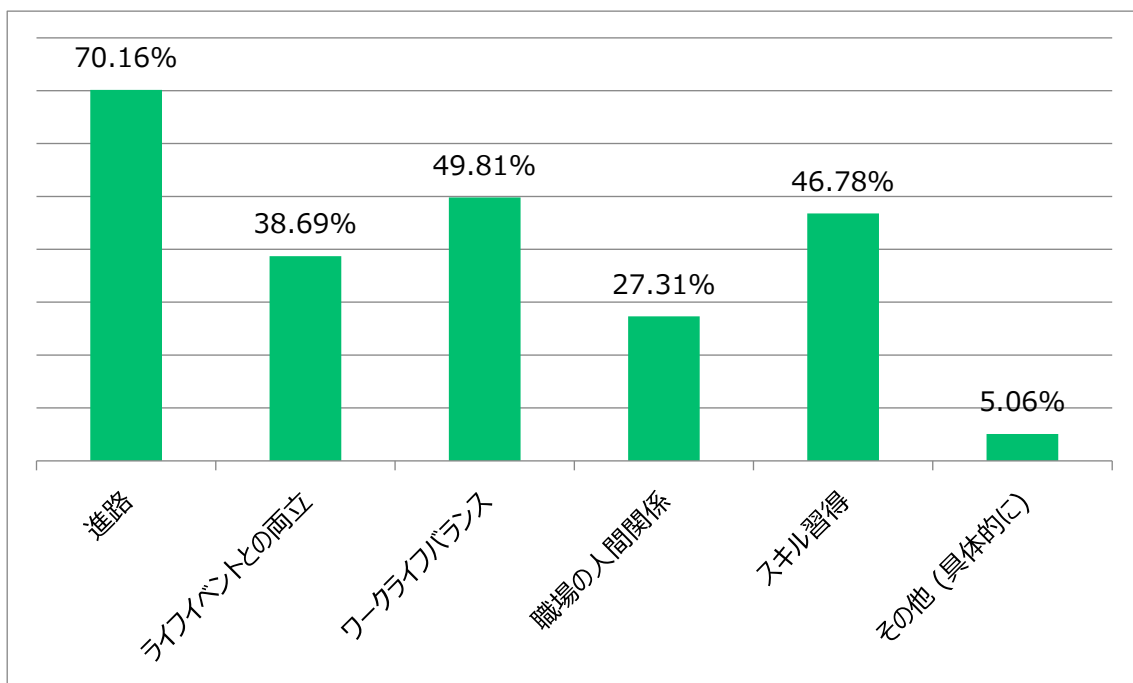
Q6. 自分のキャリアについて、自分の上司や同僚以外に相談したいと考えたことはありますか？

状況	%	n
はい	66.33%	798
いいえ	33.67%	405
計		1203



Q7. どのような内容を相談したいですか？（複数回答可）

内容	%	n
進路	70.16%	555
ライフイベントとの両立	38.69%	306
ワークライフバランス	49.81%	394
職場の人間関係	27.31%	216
スキル習得	46.78%	370
その他（具体的に）	5.06%	40
進路	70.16%	555
ライフイベントとの両立	38.69%	306
ワークライフバランス	49.81%	394
職場の人間関係	27.31%	216
スキル習得	46.78%	370
その他（具体的に）	5.06%	40
進路	70.16%	555
ライフイベントとの両立	38.69%	306
ワークライフバランス	49.81%	394
計		791



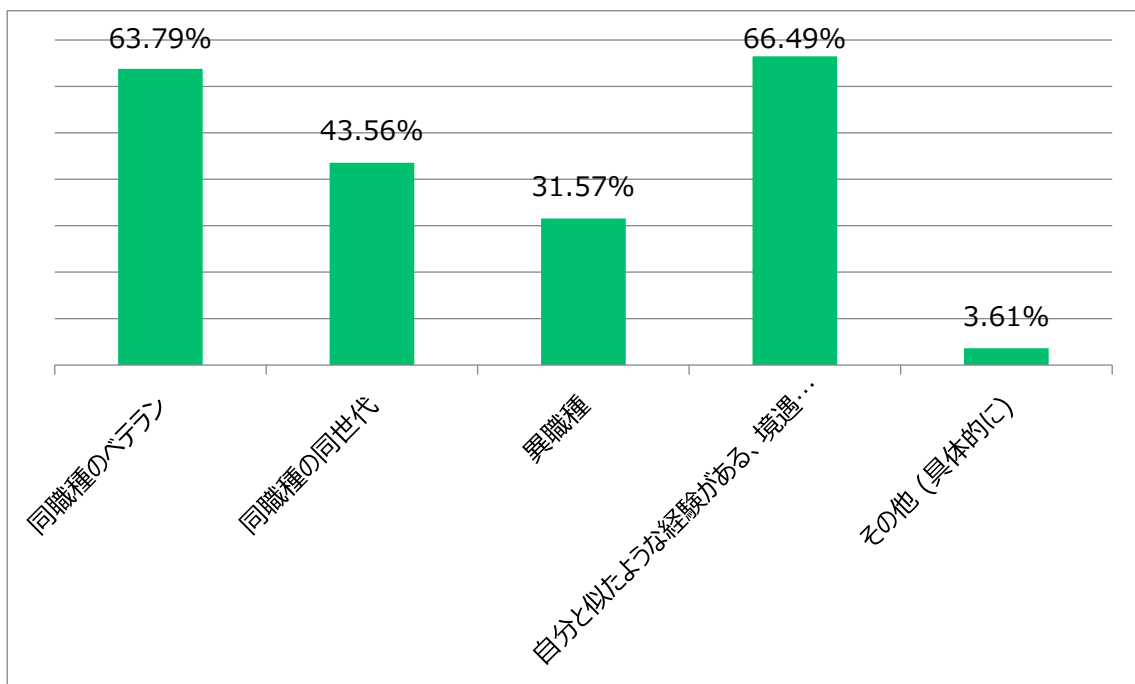
その他

学術と臨床、そして家庭を両立できる環境
転職

次の carrer aspiration について
大学病院の臨床研究特任教員の雇用 10 年問題
業務量の軽減
役職, ポストのこと
今後のキャリア形成
キャリアの着地点
今後
部下の指導、論文作成
病院内の体制構築
退局 地元への転職 副業
医局との関係。
勤務先がない
パワハラ
腫瘍内科の仕事が認識されていない事
資格取得や、サポートについて
関連領域の研修。
異動やスキルアップのための配属変換など
腫瘍内科の活躍の場が少ないこと
政治力のつけかた
大学病院か市中病院か
留学の希望
自分（の適正）への期待
配置
人間関係。
研究支援
給与
キャリア形成について
退職後の進路、退職を見据えた行動
待遇
研究や論文の書き方、 自施設では学ぶことができないことを習得する機会
専門分野以外の知見や経験について
非診療（病院管理系）ポジションにおける専門性の活かし方
貯蓄
キャリアプラン、競争資金の獲得、働く施設など
学位の取得
再就職先
転職

Q8. 自分の上司や同僚以外に、どのような人にキャリア相談したいと思いますか？（複数回答可）

相談者	%	n
同職種のベテラン	63.79%	495
同職種の同世代	43.56%	338
異職種	31.57%	245
自分と似たような経験がある、境遇にいる人	66.49%	516
その他（具体的に）	3.61%	28
計		776



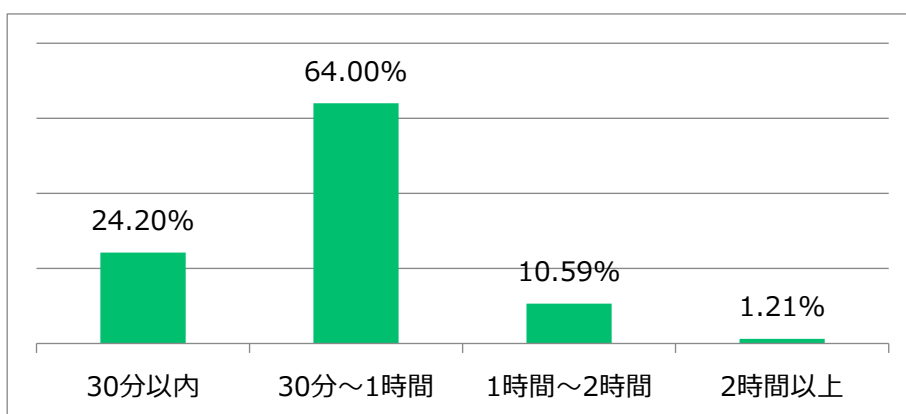
その他

信頼のおける方
その道のスペシャリスト
成功した人
家族
家族
大学院時代の恩師
資格の認定に関わる人や論文作成のサポートしてくれる人
成功体験を豊富に持つ方
実際に道を示し手段を教えて望む様になれる方法を示してくれる方
家族
専門性の構築
同性（女性）のベテラン

キャリアを成功させている人
上司
キャリアコンサルタント、エグゼクティブコーチング
教授
教授
子育て、介護された方
実際に転職した先生
同職種異職種問わず、専門家に
転職などに関わっている人
キャリアディベロップメントやメンターシップをきちんと勉強している人、利害関係でキャリアをねじ曲げない人
自分のようにレアな道を歩む医師
家族
研究のメンター医師
専門家
トップマネージメントに携わる管理職
父親（人生の成功体験者）

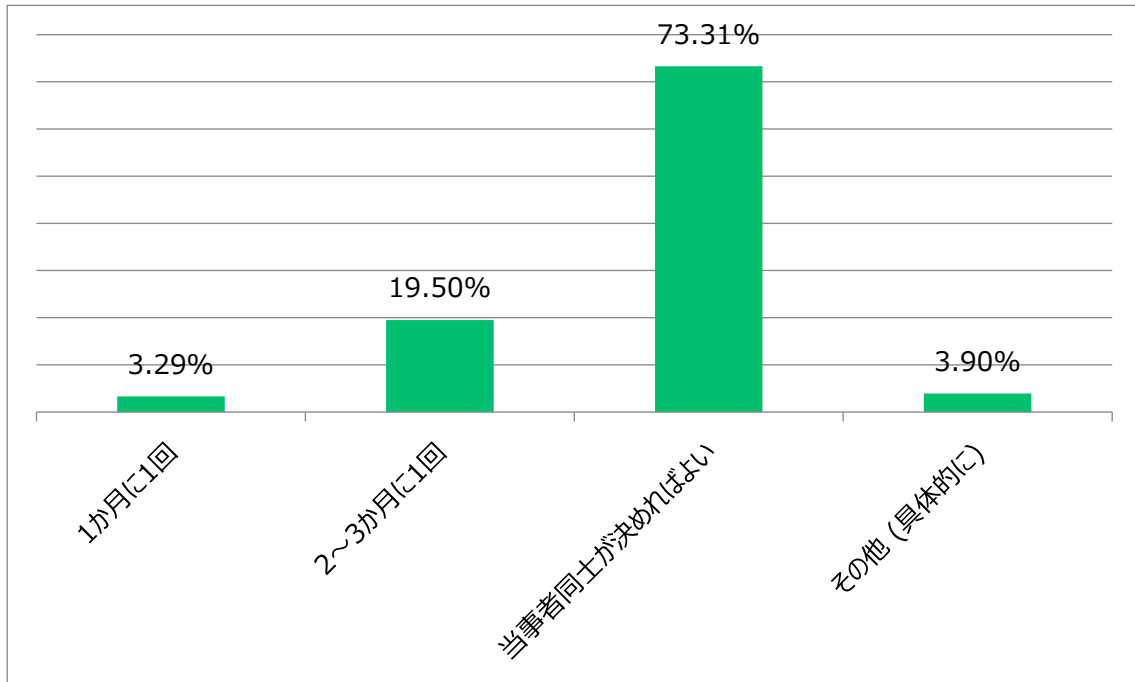
Q9. 1回のキャリア相談に必要な面談時間はどの程度だと思いますか？

面談時間	%	n
30分以内	24.20%	281
30分～1時間	64.00%	743
1時間～2時間	10.59%	123
2時間以上	1.21%	14
計		1161



Q10. キャリア相談の頻度はどの程度が望ましいと思いますか？

相談頻度	%	n
1か月に1回	3.29%	38
2～3か月に1回	19.50%	225
当事者同士が決めればよい	73.31%	846
その他（具体的に）	3.90%	45
計		1154



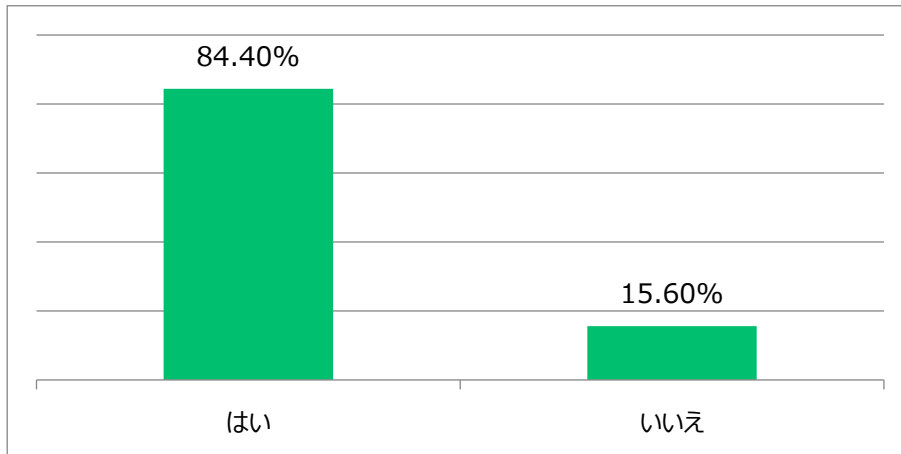
その他

6ヶ月
6カ月に1回
6ヶ月～1年に1回
半年～1年に1回
1～2年に1度
半年に1回
半年に1回程度
なし
半年ごと
そ
半年
1年に1回
6カ月

1年に1回
1~2年に1回程度でよい
半年に1回
6ヶ月に1回程度
必要時
数年に1回
1年に1回
キャリアの転機（3-4年ごとでしょうか）
年に2回は定期的に行う
学術集会の optional など
不要
半年に1回
必要ないと思う。
1年に1回
半年に一度
1-2年に1回
相談内容と相手による
年1回
相談内容に応じて相談フローなどに従って進められると良いと思います。
半年に1回
半年に一回
年に2回ほど
年に1~2回
年1回
年1回
半期に1度以上
2回程度
不要
1年に1度
当事者がなにを相談したいのかどこまでご自身で整理されているかによって時間はきまるのではないのでしょうか。自身の経験では以外と相談そのものの本質を整理するために他者の力をかりて話す機会が多かったりします。
オンデマンドがよい
当事者が悩んだときかなと思います。

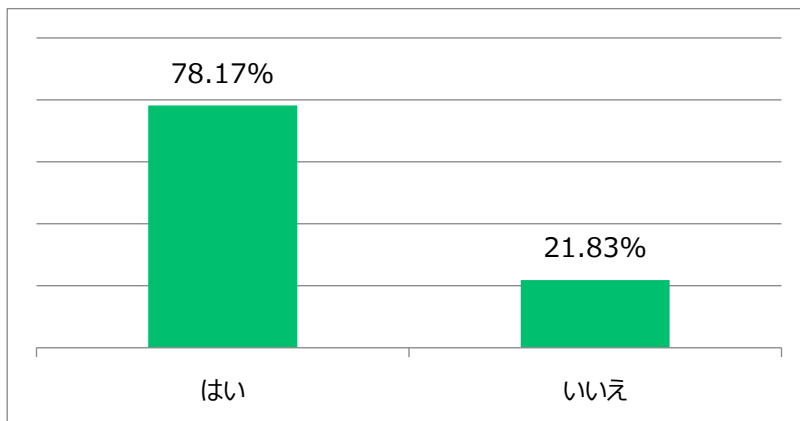
Q11. キャリア相談は web でも可能だと思いますか？

web でも可能だと思いますか？	%	n
はい	84.40%	974
いいえ	15.60%	180
計		1154



Q12. 同じ悩みを持つ方々とのグループ相談・座談会は有用だと思いますか？

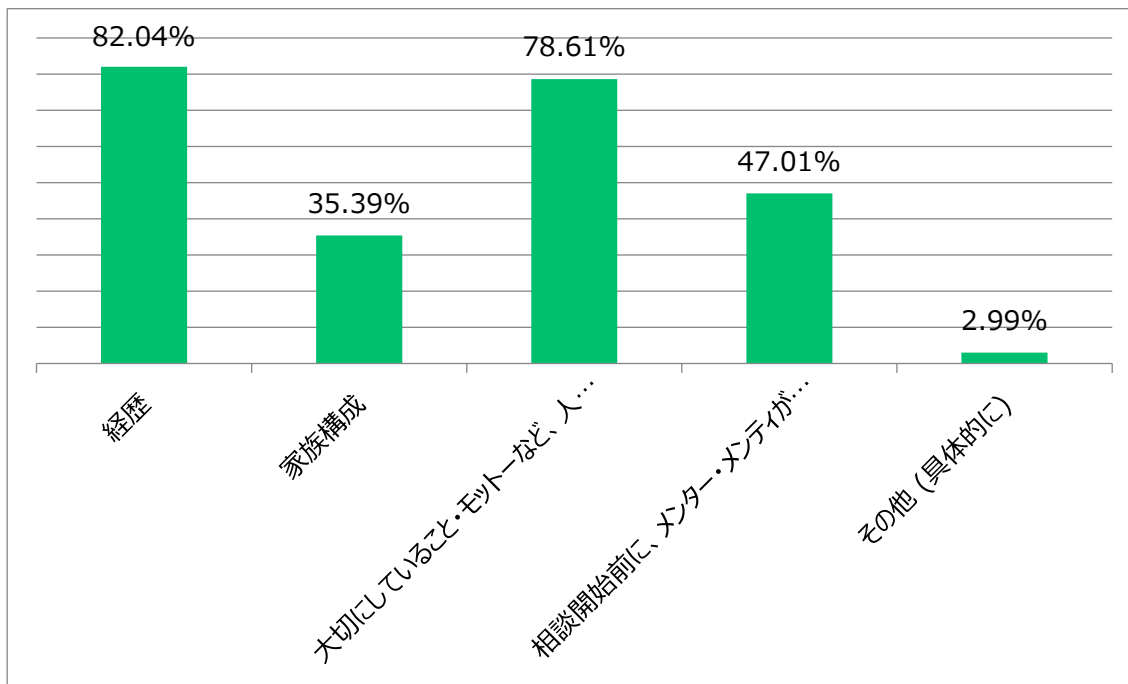
座談会について	%	n
はい	78.17%	895
いいえ	21.83%	250
計		1145



Q13. キャリア相談におけるメンターとメンティのマッチングのために、メンターに関してどのような情報などがあると良いと思われますか？（複数回答可）

情報について	%	n
経歴	82.04%	932

家族構成	35.39%	402
大切にしていること・モットーなど、人生・仕事における価値観	78.61%	893
相談開始前に、メンター・メンティがお互いを知り合う機会	47.01%	534
その他（具体的に）	2.99%	34
計		1136



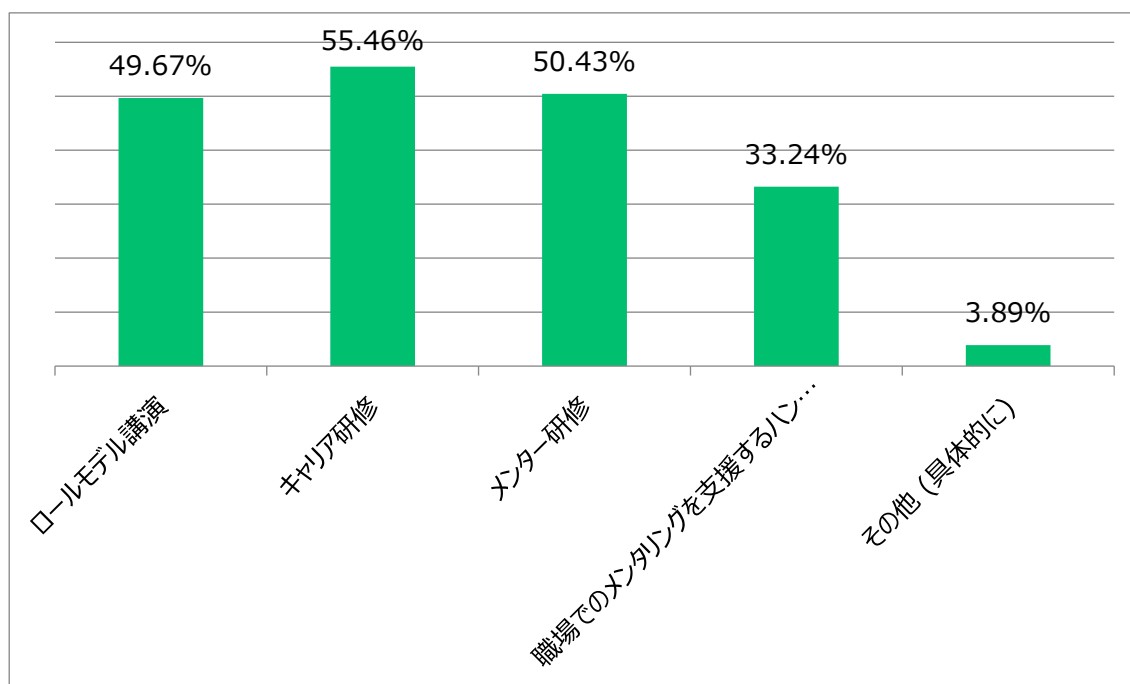
その他

収入
どんな悩みをもっているか。それに対応できるかを事前に確認
出身地
わかりません
どのような観点でのメンタリングを受けたいかという点
アカデミア、企業、大学など所属
学歴や留学経験
指導歴
キャリアそのもの
論文や研究内容
メンターとしての実績
多面的にものごとを見れる方
本人の実力（どのように把握するかは難しいです。）
合わなかったら変えられる保証
メンティが考える(希望する)キャリアプラン

性別
上記項目を実際に話している動画
職場紹介可能かなど
コーチングスキルのトレーニング歴
これまでの臨床経験に対する周囲の評価
性格の相性
守秘義務（JSMO に入会しているかどうか守秘義務かと）
必要ないと思う。
利害関係がないこと
家族の補助や、育児に関するサポートについて
その人のキャリア（相談したい内容に関する情報）
研究内容。
共通の知人がいると安心です
メンターのメンター、メンタリング経験など
人柄
具体的ニーズ
メンターに利害関係がないこと（自らが楽をするため、あるいは自施設で雑用させようと目論んでいる人であるか）
最初はメンターの方に 1 枚程度自由に自己紹介シートを作っていたいただき、自由にメンティが指名する程度でどうでしょうか。
そもそも不要

Q14. キャリア相談・座談会以外に、キャリアエンパワーメント委員会関連で委員会に希望する活動はありますか？（複数回答可）

活動について	%	n
ロールモデル講演	49.67%	523
キャリア研修	55.46%	584
メンター研修	50.43%	531
職場でのメンタリングを支援するハンドブック	33.24%	350
その他（具体的に）	3.89%	41
計		1053



その他

メンター研修やキャリア研修の具体性が見えず回答しにくい
思い浮かばない
ライフワークバランスを考慮した職場環境を進めるための提言
メーリングリスト
必要性を感じない
特に difficult communication やアカウントビリティーに関するコミュニケーション教育
委員会のあり方を根本的に考え直す必要あり
ポジションの斡旋
具体的な求人案内など
ポストが少ない
マッチングシステム
医師の処遇改善（産休育休医局人事など）について国や県に学会として働きかけてほしい
キャリアアップのためのアイデア集
特に希望しません
具体的なリクルート情報など
A N A などの企業が提供しているような若手教育研修やチームビルディングの企業研修を受けたい
有名な先生に直接相談することには気が引けても、講演やディスカッションを聞いておくだけなら参加したい、という方も一定数いると思います。
コーチングやキャリアコンサルタントの紹介・斡旋
(キャリア研修とはどのようなものでしょうか)
日本臨床腫瘍学会に所属していることでキャリアエンパワーメントに繋がる事柄をアピールする活動

JSMO 自体が、仕事一筋の働き方ばかりの人々から構成され、多様性ある働き方を許容していない印象です。メイン所属学会ですが、いづらいです。居心地の良さ改善をお願いいたします。

職場、職種、個々の環境、地域文化で異なるため各地域での取組みを支援する機会、財政的支援の仕組みが大切、地方会場の場を有効活用できないものか。

しくじり先生講演

多様性を想像できるよう、悩みのない方や管理者への啓蒙

多様な（≠少数派の）キャリアの存在を学会全体に認識して貰うとともに、本学会として少数派の専門性の活かし方を発信するような活動を希望いたします。

座談会やキャリア相談で提示された事例を改善できるよう学会等から公表し、職場の環境を変えていけるようなアプローチが必要

ダイバシティーの重要性を周知する（管理職に）